

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／株式
信託期間	無期限（2018年11月9日設定）
運用方針	主としてわが国の株式に投資を行います。 株式への投資にあたっては、主として日経平均株価採用銘柄の中から予想配当利回りの上位30銘柄を選定し、流動性を勘案して銘柄毎の組入比率を決定します。 株式の組入比率は高位を維持することを基本とします。 株式以外の資産への投資割合は、原則として信託財産の総額の50%以下とします。
主要運用対象	わが国の株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。 分配金額の決定にあたっては、配当収入（経費控除後）の水準を勘案します。

運用報告書（全体版）

日経平均高配当利回り株ファンド



第13期（決算日：2025年6月16日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、お手持ちの「日経平均高配当利回り株ファンド」は、去る6月16日に第13期の決算を行いました。
ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。
今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先	
お客さま専用 フリーダイヤル	0120-151034 （受付時間：営業日の9:00～17:00、 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。	

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 騰 落 中 率			
	円		円	%	%	%	百万円
9期(2023年6月15日)	13,643		330	20.1	95.5	—	12,362
10期(2023年12月15日)	15,626		270	16.5	95.7	—	44,697
11期(2024年6月17日)	18,639		280	21.1	97.2	—	129,996
12期(2024年12月16日)	17,021		330	△ 6.9	97.4	—	162,004
13期(2025年6月16日)	17,170		340	2.9	97.9	—	183,185

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		騰 落	率		
(期 首)	円		%	%	%
2024年12月16日	17,021	—	—	97.4	—
12月末	17,878		5.0	97.8	—
2025年1月末	17,401		2.2	96.0	—
2月末	17,592		3.4	97.1	—
3月末	17,649		3.7	96.3	—
4月末	17,086		0.4	96.8	—
5月末	17,831		4.8	97.0	—
(期 末)					
2025年6月16日	17,510		2.9	97.9	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

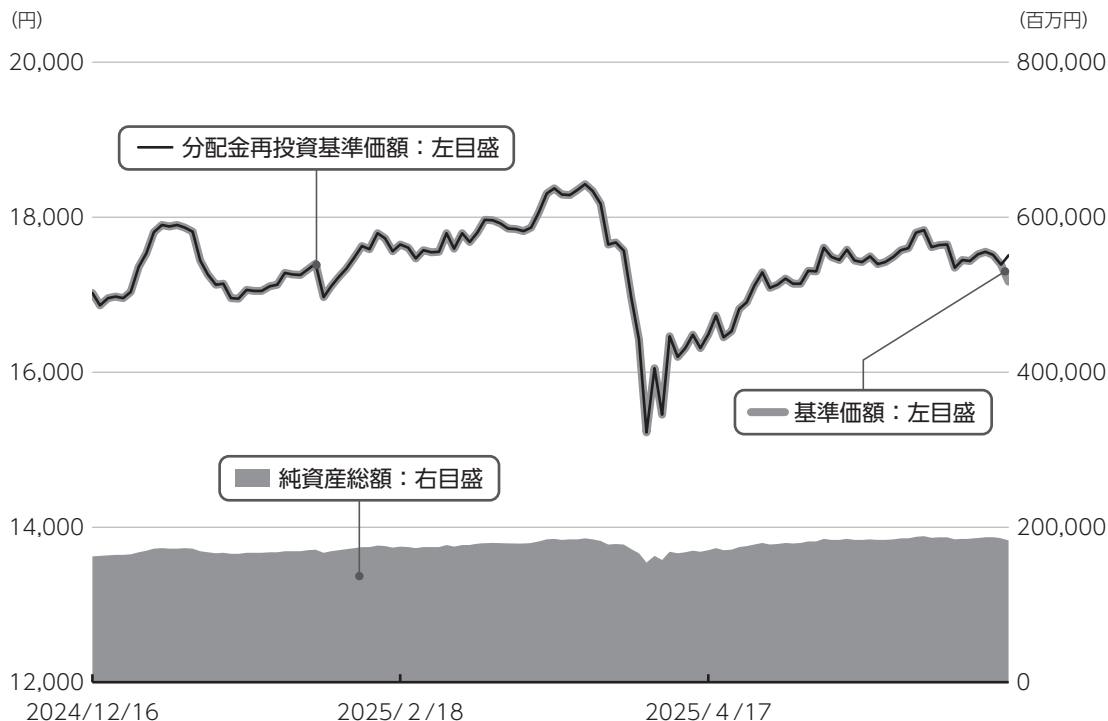
(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第13期：2024年12月17日～2025年6月16日

当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第13期首	17,021円
第13期末	17,170円
既払分配金	340円
騰落率	2.9%
(分配金再投資ベース)	

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ2.9%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

> 基準価額の主な変動要因

上昇要因

日経平均株価が下落するなか、保有するガラス・土石製品、銀行業、化学などに属する銘柄の株価下落がマイナスに作用した一方、輸送用機器、情報・通信業、鉱業などに属する銘柄の株価上昇がプラスに寄与したことが、当ファンドの基準価額の上昇要因となりました。

第13期：2024年12月17日～2025年6月16日

投資環境について

国内株式市況

当期間の国内株式市場は、米関税政策の世界景気に与える影響などが懸念され、軟調となりました。

期間の初めから2025年1月にかけての国内株式市場は、横ばい圏で推移したのち、米トランプ政権が発足すると矢継ぎ早に打ち出される経済政策に世界の株式市場が右往左往する展開となり、3月末にかけて下落傾向となりました。特に、円高・米ドル安の進行のほか、米政権による先の読めない関税政策が世界経済に与える影響や、自動車への米追加関税策の発表などが下落要因となりました。

4月に入ると、米政権による「相互関

税」が市場の想定よりも厳しい内容だったことなどから世界的に株価は調整し、急速に進行した円高・米ドル安とも相まって国内株式市場は記録的な下落幅となりました。

期間末にかけては、日本を含む一部の国・地域に対して「相互関税」の一時停止措置や半導体関連製品の適用除外、自動車への救済措置など緩和策が発表されたことのほか、先んじて米英間で貿易協定が合意されたことなど対米関税交渉の進展期待や、米中貿易摩擦の緩和観測などが好感され、国内株式市場は下落幅を縮小しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

当期間も引き続き、所定の運用プロセスに基づき、日経平均採用銘柄の中から配当利回りの高い30銘柄を抽出し、個別銘柄ごとの流動性を勘案したポートフォリオを構築して運用しました。

前記の結果、2024年12月にリバランス（組入銘柄の入替えと組入比率の調整）を実施しました。

具体的には、川崎汽船、日本郵船、商船三井などを新規に買い付け、日産自動車、本田技研工業、マツダなどを買い増した一方、小松製作所、三井住友トラストグループ、三菱ケミカルグループなどを全株売却し、アステラ

ス製薬、ソフトバンク、神戸製鋼所などを一部売却しました。銘柄入替前後での業種比較は、海運業、鉱業、証券、商品先物取引業などの構成比率を引き上げ、機械、銀行業、建設業などの構成比率を引き下げました。なお、今回のリバランスでは投資判断により除外した銘柄はありません。

2025年3月には、2025年3月期期末の会社予想配当を未定とし、日経予想配当が無配となった日産自動車を全株売却しました。

これ以降、期間末にかけて29銘柄で構成する当該ポートフォリオを維持しました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第13期
	2024年12月17日～2025年6月16日
当期分配金（対基準価額比率）	340 (1.942%)
当期の収益	340
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	7,169

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

主として日経平均採用銘柄の中から予想配当利回りの高い30銘柄を選定し、流動性を勘案して銘柄毎の組入比率を決定します。保有銘

柄の信用リスクや配当水準の動向に留意し、引き続き所定の運用プロセスに基づき運用していく方針です。

2024年12月17日～2025年6月16日

> 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	60	0.346	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(29)	(0.165)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(29)	(0.165)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.016)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.009	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株 式)	(1)	(0.009)	
(c) その他費用	0	0.001	(c) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	61	0.356	

期中の平均基準価額は、17,370円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

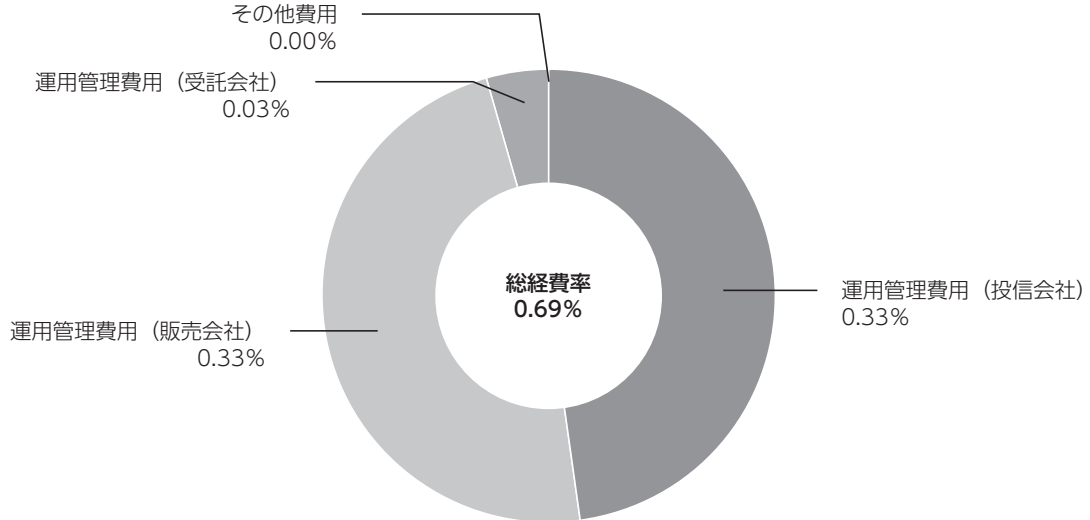
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.69%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年12月17日～2025年 6 月16日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上場	千株 54,131	千円 87,405,582	千株 66,108	千円 67,090,635

(注) 金額は受渡代金。

○株式売買比率

(2024年12月17日～2025年 6 月16日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	154,496,218千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	171,289,691千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.90

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2024年12月17日～2025年 6 月16日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
		うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
株式	百万円 87,405	百万円 22,196	% 25.4	百万円 67,090	百万円 16,820	% 25.1

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモルガン・スタンレーMUF G証券です。

○組入資産の明細

(2025年6月16日現在)

国内株式

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
鉱業 (6.4%)			
I N P E X	—	5,422.6	11,463,376
建設業 (—%)			
大林組	1,935.1	—	—
長谷工コーポレーション	850.3	—	—
食料品 (6.6%)			
日本たばこ産業	2,297.7	2,708.3	11,808,188
パルプ・紙 (—%)			
王子ホールディングス	4,160.7	—	—
化学 (3.4%)			
東ソー	1,407.9	990.6	2,044,598
デンカ	550.8	362.8	690,227
三井化学	—	814.3	2,606,574
三菱ケミカルグループ	5,163.5	—	—
U B E	467.5	379.6	847,077
医薬品 (10.8%)			
武田薬品工業	2,547.7	2,746	11,906,656
アステラス製薬	6,845.7	5,357	7,422,123
ガラス・土石製品 (1.6%)			
A G C	916	702.5	2,965,955
鉄鋼 (13.3%)			
日本製鉄	3,109.8	3,753.9	10,783,077
神戸製鋼所	5,370.2	4,141.5	6,630,541
J F Eホールディングス	4,174.4	3,809.8	6,446,181
非鉄金属 (0.9%)			
三菱マテリアル	—	723.4	1,613,905
機械 (3.6%)			
小松製作所	2,315.2	—	—
日立建機	831.6	842.6	3,672,050
日本精工	2,051	1,622.7	1,039,501
N T N	—	3,696.8	791,115
ジェイテクト	—	908.8	984,230

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
電気機器 (3.5%)			
アルプスアルパイン	1,137.8	—	—
カシオ計算機	1,063.8	—	—
太陽誘電	—	2,690.9	6,277,869
輸送用機器 (12.1%)			
日産自動車	19,439.2	—	—
いすゞ自動車	2,504.9	1,848.1	3,333,048
マツダ	5,177.6	6,327	5,382,378
本田技研工業	6,169.3	9,040.1	12,968,023
精密機器 (0.4%)			
シチズン時計	1,201.8	864.8	734,215
陸運業 (—%)			
N I P P O N E X P R E S Sホールディン	406.1	—	—
海運業 (18.7%)			
日本郵船	—	2,236.7	11,510,058
商船三井	—	2,150.7	10,738,445
川崎汽船	—	5,376.6	11,266,665
情報・通信業 (5.7%)			
ソフトバンク	52,780.5	46,150.3	10,189,986
卸売業 (2.2%)			
双日	1,292	1,107.3	3,892,159
小売業 (—%)			
丸井グループ	787.2	—	—
銀行業 (—%)			
三井住友トラストグループ	1,886.1	—	—
証券・商品先物取引業 (5.0%)			
野村ホールディングス	—	10,009.4	8,891,350
保険業 (5.8%)			
MS&ADインシュアランスグループホール	3,130.5	3,209.2	10,449,155
合 計	株 数 ・ 金 額	141,971	129,994
	銘柄数<比率>	30	29

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2025年6月16日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 179,348,735	% 95.6
コール・ローン等、その他	8,314,147	4.4
投資信託財産総額	187,662,882	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年6月16日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	187,662,882,905
コール・ローン等	5,838,096,920
株式(評価額)	179,348,735,430
未収配当金	2,475,976,500
未収利息	74,055
(B) 負債	4,477,155,844
未払収益分配金	3,627,452,244
未払解約金	240,256,088
未払信託報酬	606,942,724
その他未払費用	2,504,788
(C) 純資産総額(A－B)	183,185,727,061
元本	106,689,771,885
次期繰越損益金	76,495,955,176
(D) 受益権総口数	106,689,771,885口
1万口当たり基準価額(C／D)	17,170円

<注記事項>

- ①期首元本額 95,179,566,192円
 期中追加設定元本額 24,607,610,564円
 期中一部解約元本額 13,097,404,871円
 また、1口当たり純資産額は、期末17,170円です。

②分配金の計算過程

項 目	2024年12月17日～ 2025年6月16日
費用控除後の配当等収益額	3,798,433,316円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円
収益調整金額	70,192,565,197円
分配準備積立金額	6,132,408,907円
当ファンドの分配対象収益額	80,123,407,420円
1万口当たり収益分配対象額	7,509円
1万口当たり分配金額	340円
収益分配金金額	3,627,452,244円

○損益の状況 (2024年12月17日～2025年6月16日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	4,297,936,497
受取配当金	4,288,223,273
受取利息	9,700,958
その他収益金	12,266
(B) 有価証券売買損益	946,096,820
売買益	7,469,329,209
売買損	△ 6,523,232,389
(C) 信託報酬等	△ 609,447,512
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	4,634,585,805
(E) 前期繰越損益金	△ 5,153,019,222
(F) 追加信託差損益金	80,641,840,837
(配当等相当額)	(49,677,993,885)
(売買損益相当額)	(30,963,846,952)
(G) 計(D＋E＋F)	80,123,407,420
(H) 収益分配金	△ 3,627,452,244
次期繰越損益金(G＋H)	76,495,955,176
追加信託差損益金	80,641,840,837
(配当等相当額)	(49,677,993,885)
(売買損益相当額)	(30,963,846,952)
分配準備積立金	6,303,389,979
繰越損益金	△10,449,275,640

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	340円
-----------------	------

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

*三菱ＵＦＪアセットマネジメントでは本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

【お 知 ら せ】

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。
(2025年4月1日)